

2015年2月度 野田村仮設住宅訪問活動報告

2015年2月22日(日) 報告：石橋大輔(札幌教会)

実施日：2015年2月20日(金)

参加者：10名(八戸教会1名、鮫教会4名、三沢教会1名、八戸聖書キリスト教会1名、函館美原教会1名、札幌教会2名)

AM5:00 歩いて鮫教会へ!



いつものように、船中泊で八戸へ。恒例の陸奥湊の朝市で豪華な朝食を頂き、鮫教会までの約3キロ道のりを40分かけて歩きました。雪がちらつく中を、4才のとらくんと一緒に讃美歌メドレー(時々ゲゲゲの鬼太郎)を熱唱しながら歩いたので、すれ違う人とは目は合わせられませんでした(笑)



AM8:00 礼拝をしてから出発です



集合前にコーヒーをセットするのは北海道組の仕事ですが、前回分量を間違い、超薄いコーヒーになってしまったためか、なんと既に分量通りのコーヒー豆が袋に・・・(笑)礼拝でのルーテル同胞教団の澤田牧師の詩編121から「私の助けはどこから来るのか・・・」とのメッセージを、鮫教会の方々のその助けと愛情とに重ねて聴きながら、大変身に染みしました(笑)集合写真は鮫教会の1F廊下にて。壁の子どもたちの絵が素敵です!



AM10:00 少し寂しさが漂います(野田中仮設お茶会・門前/米田仮設訪問)



野田中仮設には建設の進む高台住宅の模型が展示されています。段々と住宅の建築が進んでいきます。鮫教会の方の手作りのシフォンケーキ、鹿児島地区牧師会の方々が送って下さった珍しいみかん、札幌教会の方が持たせて下さったロイズのチョコレート。食べきれないほどのお菓子里、皆さん、とても喜んでくれました。



また、門前/米田仮設の戸別訪問では、それぞれ当初約18世帯が入居していた各仮設ですが、門前には依然として約10世帯が残っていたのに対し、米田では既に1世帯が残るのみとなっていました。仮設によっても住宅建設の進行状況は違います。

PM0:00 道の駅「ばあぶる」とおみやげ



野田塩ラーメンは大盛りでも650円!親子で食べても十分なボリューム!そんな塩文化の中で、ボランティア常連の小向さんはネギ味噌ラーメンを注文。チャレンジャーです。お土産も様々。我が家は家族が心待ちにしている「のだ塩やきそば」を必ず買って帰りますが、小向さんは道の駅の向かいのお魚屋さんで海藻とイカを購入するつわもの。「のだ塩ソフト」



を食べ続ける林先生にも負けずとも劣らない、常連を超えたスーパー常連です。

PM1:30 泉沢仮設住宅でのお茶会(下安家戸別訪問)



泉沢の仮設住宅はもともと野田中に比べるとかなり小規模ですが、ここの仮設もだいぶ転居された方が増え、お茶会には4名の参加・・・と、途中からお孫さんを連れてきてくれた方がいて、一気ににぎやかに。ちびっこ二人は集会所の中では飽き足らず、外で思いっきり遊んでいました。



戸別訪問した下安家仮設は残る家族は二家族(親子)のみ。三月中には仮設の道路を挟んだ向かいに家が建つ予定で、今は仮設の隣の部屋に住む息子さん家族と、一緒に食卓を囲む日を楽しみにしておられました。



PM5:00 活動無事終了(反省会)

先日、北海道バプテスト災害対策委員会では、鮫教会の林先生に来て頂き、今後の活動について話し合いました。そこで2015年度いっぱい活動を続けることを決めると同時に、これまでの活動が私たち(教会)にとって何だったのか?ということと一緒に話しながら言葉にしていこうと話し合われました。ただ何か慈善を行いにかけたのではなく、神様が見せて下さった数々の恵みを確認していきたいと願っています。